

田空 わがまち 自慢

第7回

古閑の滝観光組合

古閑の滝観光組合の皆さん



ASO 田園空間博物館では地域の奥深い魅力を伝えるため、地域の方々と協力した散策イベントを定期的に開催しています。

地域活動を活発に行っている団体の取り組みを紹介する「田空わがまち自慢」、第7回目は、古閑の滝周辺の整備などの取り組みをしている「古閑の滝観光組合」の皆さんにお話を伺いました。

冬の阿蘇の風物詩 「古閑の滝」

男 滝80級、女滝100級からなる夫婦滝。

古閑の滝は、昔から縁結びの滝とも言われ、流れ落ちる水が北風に吹き上げられ、霧氷となり、幾重にも重なり合い純白色の氷の芸術を作り出す様は見事です。3月になり暖かくなると100級の高さから氷の落下する音は凄まじく、古閑の集落まで響きわたったり春の訪れを知らせま

す。この氷の芸術が姿を現す、毎年1月から2月にかけての毎週土曜日には、午後6時から8時までの間、ライトアップも行われており、この時間帯に通りJRの車窓からも見ることができます。この取り組みは地元有志によって結成された「古閑の滝観光組合」が行っています。

より良い観光名所を目指して

古 閑の滝はもともと観光地としてさほど有

名ではありませんでしたが、平成16年に観光協会が冬の阿蘇をPRするキャンペーンを行い、そのキャンペーン・パンフレットの表紙に古閑の滝が使われ、脚光を浴びたことをきっかけに、観光客が急増しました。

多い日には1日200台以上も観光客の車が訪れるようになり、嬉しい反面、思わぬ反響の大きさにより地域内では路上駐車等の問題が起きるなどの弊害が起きてしまいました。周辺の道路は農家の方が生活に使う道でもあり、この問題は地域にとって非常に深刻なものでした。

そこで地域住民の話し合いのもと、地域7戸14人の出資で土地を借り、駐車スペースを確保、整備することにより路上駐車解消を図りました。また、狭く離合が難しい道路に案内板を設置し、一方通行を促すルート設定を行い、交通渋滞を未然に防ぐ対策にも取り組みました。これらの対応が功を奏し、問題を解決することができました。

このような経緯のもと、古閑の滝をより良い観光名

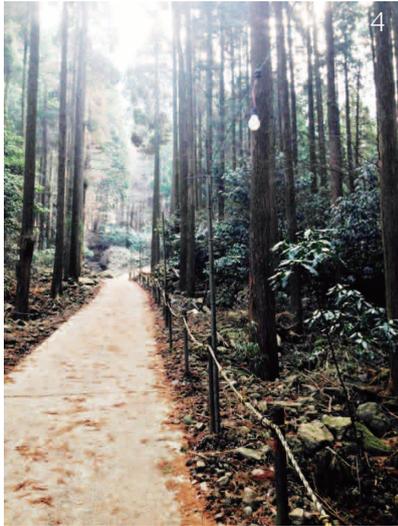
所にしていくという地域の方々の想いが集まり、現在の観光組合の結成に繋がりました。

これまでの活動

平 成17年11月に「古閑の滝観光組合」を結

成し、古閑の滝の夜間ライトアップと小さな売店の運営を始めました。平成21年から毎年1回、古閑の滝の水質検査をし、飲料水としても利用可能であることが分かりました。翌年には、簡易的なプレハブ小屋と木造の食事処を自分たちで建設し、売店もリニューアルしました。観光客の皆さんには温かいだこ汁やいきなり団子など大変喜んでいただき、これを目当てに来たという方もいらっしゃるほどです。私たちも県内外からいらっしゃるお客さまとお話しをすることはとてもやりがいを感じ、楽しい時間となっています。

この他に駐車場や道路照明の管理、年に3回程程度の草刈り作業、毎年シーズンを終えての反省会など、1年を通してさまざまな取り



- 1 手作りの売店。郷土料理が好評で、料理を目当てに訪れる観光客も
- 2 災害前と3 災害後の古閑の滝。展望台に続く階段が土砂流出により流されてしまった
- 4 入口から滝まで600mの間に照明を設置している

豪雨災害からの復興に向けて

組みを行っています。
 こうした活動が評価され、平成23年にASO田園空間博物館から「阿蘇づくり大賞」をいただきました。

九 州北部豪雨の影響は、この古閑の滝にも大きな被害をもたらしました。災害の翌日、すぐに古閑の滝まで行ってみましたが、道路は土砂で通行不能になっていました。やっとの想いで道路を切りひらき、古閑の滝までたどり着くと、そこにはライトアップ設備や展望所など、今までみんなで力を合わせて作ってきた物全てが流されてしまいました。滝の形も随分と変わってしまっており大変残念です。

しかし、観光客の皆さんは冬の阿蘇の風物詩を楽しみにしています。そこで早速、平成24年9月には復旧活動を始めました。しかしながら、被害が大きかったため復旧には長い期間を要し、ことし11月11日ようやく災害後初めてのライトアップをすることができました。

また、毎年行っている反省会でメンバーから「もっとこうしたらお客さんに喜んでもらえるのでは？」という意見やアイデアが出されるので、それらをつつと形にしていきたいと考えています。

しかし、まだまだ完全に復旧できたとは言えない状況です。何とか自分たちでできるところまで復旧したいと考えていますが、なかなか自分たちだけではできないこともあるので、今後は行政とも協力しながら、少しでも早く復旧できるように取り組むつもりです。

お客様のためにお越しいただく

現 在、組合の運営は自分たちで整備した駐車スペースの利用料金と売店の売上で賄っています。が、駐車スペースの料金はライトアップなどの設備代に、売店の売上は食材費にほぼ充てており、労務費を賄うまでには至っていません。何とかギリギリで運営している状況です。しかし、足を運んでいただいた観光客の皆さんに事故などがないよう、一刻も早い復旧を一番の目標に活動しています。

また、毎年行っている反省会でメンバーから「もっとこうしたらお客さんに喜んでもらえるのでは？」という意見やアイデアが出されるので、それらをつつと形にしていきたいと考えています。

ことしから、同じ坂梨地区のサテライトである「坂梨宿場会」のマップを売店に置いて、古閑の滝にいらっしゃったお客さまに他のサテライトにも立ち寄っていただけるよう工夫しています。このような取り組みを通じ、ASO田園空間博物館のサテライトに登録されている他のサテライトとの交流もしていきたいと考えています。古閑の滝はもちろん、阿蘇全体の観光が今以上に盛り上がることを期待しています。

古閑の滝の水はその時その時で形を変えます。また同じ水でも昼と夜ではまた違った表情を見せてくれます。そんな古閑の滝をわざわざ見に来てくださるお客さまに、今以上に阿蘇の大自然を満喫していただけるよう、「古閑の滝観光組合」一同、協力していきます。